



メディア・リテラシーって？

日本でのインターネット利用は 2019 年におよそ 9 割となりました。そして、コロナ禍により、ますます身近なものになったと実感されている人も多いと思います。しかし、未だにインターネットを含めたデジタル化に対する不安や抵抗があるという人も少なくないようです。その大きな理由の一つとして「リテラシー」が十分でないことが問題とされています。

「メディア・リテラシー」とは、インターネット等のメディアを主体的に読み解く能力や、メディアの特性を理解する能力、新たに普及する機器にアクセスし活用する能力、メディアを通じコミュニケーションを創造する能力等を育むことです。「四日市市総合計画」の中でも「インターネット時代における、メディア・リテラシー養成を通じた人権教育の推進」がプロジェクトの一つとなっています。様々な立場の人が、それぞれの立場に合わせて社会参画できるソーシャル・インクルージョン、「誰一人取り残さない」まちづくりのためにもメディア・リテラシーが重要な取り組みと考えられます。

Q. メディア・リテラシーどうやって取り組んだらいいですか？

A. 楽しく学べる DVD や図書をそろえています！



『コントで学ぶ メディアと社会とわたし』 シリーズ



DVD 内容
紹介ページ

フェイクで作られる世界 ② (32分)

災害時の心理とメディア④ (31分)

この DVD は、情報化社会における様々な問題や課題について、実際におこった事例や、今後起こるだろうと思われる事象などを、「コント」で提議し、解説するというスタイルの作品です。クスツと笑って楽しく考えることができます。

DVD には PDF データの「ユーザーズガイド」もついているので、理解をさらに深めることができます。

情報化社会の構築は私たちの暮らしを便利で効率的にする一方で、様々な問題を抱えています。これらの問題を社会の一部である「わたし」という存在を軸にして考える機会にしてみてください。



新着図書より

『うわさとは何か ネットで変容する「最も古いメディア」』【番号：J-5-267 松田美佐 著 中央新書】

「最も古いメディア」である「うわさ」を身近な事例になぞらえながら、「メディア・リテラシー」について考えることのできる作品です。

新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大しつつあった 2020 年 2 月、「トイレトペーパーがなくなる」などという「デマ」が投稿されると、「デマ」だと知りながらもその「うわさ」は多くに流布し、トイレトペーパーの全国的な品薄状態は 2 か月以上続きました。これは、多くの人々が正しい情報の入手方法について困難を抱えていたことも原因でしたが、はたして情報入手が困難であったことだけが問題だったのでしょうか。

本書は、デマ・流言・ゴシップ・都市伝説などの「うわさ」を「古くて新しいメディア」として捉えて論じられた作品です。ネット社会とうわさの関係などについては本書の全 6 章のうち 2 章分をとり、社会心理学や統計など、多面的に、学術的に考察されています。また、「口裂け女」「人面魚」「トイレの花子さん」…など、様々な世代の「聞いたことある」事例が紹介されているので、「身近な課題」としても考えやすい内容です。

入荷月	書名	著者名等	出版社等	分類番号	
1	マンガでわかる オトコの子の「性」 思春期男子へ13のレッスン ★	村瀬 幸浩(監修) 染矢 明日香(著) みすこそ(マンガ)	合同出版	I-4	158
2	ウスビ・サコの 「まだ、空気読めません」	ウスビ・サコ	世界思想社	B	85
2	新增補版 心の傷を癒すということ 大災害と心のケア	安 克昌	作品社	F	232
2	「男女格差後進国」の衝撃 無意識のジェンダー・バイアスを克服する	治部 れんげ	小学館	G	127
2	新書版 ^{ジェンダー} 性差の日本史	国立歴史民俗博物館(監修) 「性差の日本史」 展示プロジェクト(著)	集英社 インターナショナル	G	128
2	不安と折り合いをつけて うまいこと老いる生き方	奥田 弘美 中村 恒子	すばる舎	H	55
2	相談支援の処「法」箋 福祉と法の連携でひらく10のケース	青木 志帆	現代書館	H	56
2	知的障害や発達障害のある人との コミュニケーションのトリセツ	坂井 聡	エンパワメント 研究所	J-5	264
2	支援者・家族のための ひきこもり相談支援実践ガイドブック 8050問題、発達障害、ゲーム依存、地域包括、 多様化するひきこもり支援	原田 豊	福村出版	J-5	265
2	はじめてのニュース・リテラシー	白戸 圭一	筑摩書房	J-5	266
2	うわさとは何か ネットで変容する「最も古いメディア」	松田 美佐	中央新書	J-5	267
2	「現代優生学」の脅威	池田 清彦	集英社 インターナショナル	J-7	14

新着
DVD

『コントで学ぶ メディアと社会とわたし 災害時の心理とメディア④』



4巻監修 酒井 信 文教大学 情報学部 メディア表現学科 准教授

どんなに異常な出来事が起きても、人間は自分たちが慣れ親しんできた日常の秩序を「正常」だと思い込んでしまう傾向があります。ただ人気のある人が言うことや、ネット上で多くの人々が支持する情報が正しいとは限りません。同様に、災害時にみんなが逃がっている方向や、みんなに広まっている情報が正しいとも限りません。人間は「群れる動物」ですが、時に一人一人がメディア・リテラシーを持って情報を収集し、とるべき行動について判断する必要があります。「コントで学ぶメディアと社会とわたしの監修を終えて」より

◇ 貸し出しについて ◇

- ◇ 1回につき5冊(本)まで・貸出及び返却日を含め15日以内
- ◇ 直接人権センターへお越しいただくか、お問い合わせください。



人権啓発
貸出

【電話】059-354-8609 【FAX】059-354-8611 【mail】jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp